

もしもこの世界が 大貧民ゲームだとしたら

南北問題入門からフェアトレードまで

自由の森学園の社会科では、いま、日本や世界はどうなっており、人間らしい生き方や社会はどうしたら作れるのかを、対話や討論、レポート作りを通じて自ら考えます。

一般の方にも自由の森の授業を体験していただき、教育、社会について考えて戴きたいと思います。

子供から大人までたくさんの方の参加をお待ちしています。

取り上げるテーマ

「この村では、1000人のうち、200人が村の所得の4分の3を得ています。別の200人の収入は村の所得のうちのわずか2%です。(ドネラ・メドウズ「村の現状報告」より)「豊かな」北の国々と「貧しい」南の国々の格差の問題はずいぶん前から言われてきましたが、経済のグローバル化が進む近年、その差がさらに大きくなったと言われています。地球温暖化のことはどこでも話題になっていますが、その分、この格差と貧困化の問題は、あとまわしになっているように思います。すべてはつながっているにもかかわらず。この講座では、<世界貿易ゲーム>というワークショップを入り口にして、世界の豊かさと貧しさを作り出しているしくみを考え、世界がどう変わっていったらいいのかをさぐってみます

日時 10月5日(日) 10:00~12:00 (9:30~受付)

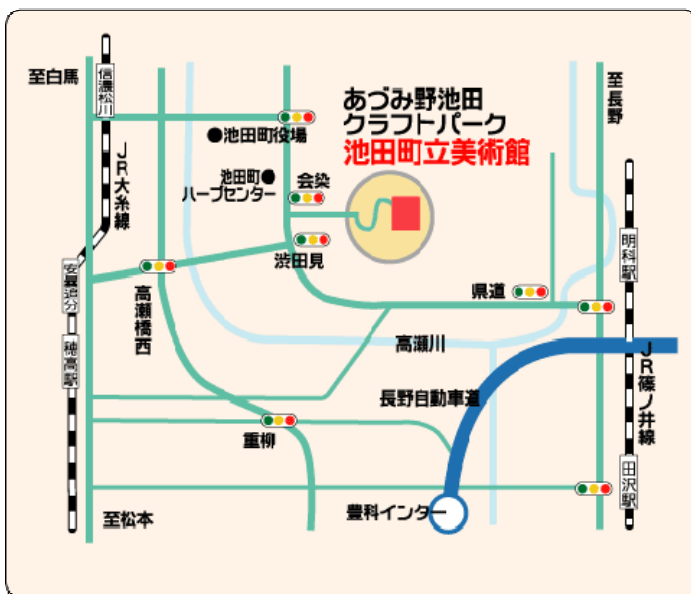
場所 池田町クラフトパーク内 創造館〒399-8602 長野県北安曇郡池田町会染 7782

参加費 無料 どなたでも参加できますが、名前、人数、連絡先をfaxかメールで戴くと有り難いです。小学生から大人まで楽しく学びましょう。当日参加もできます。

お問い合わせ 自由の森学園長野ブロック 臼井朋子 0261-62-0638(tel & fax)
shalom@ultraman.gr.jp

講師プロフィール 上野文康(うえのふみやす)さん

1952年生まれ 自由の森学園社会科教員 自由の森の開校後、間もなくフィリピンのネグロス島を訪れ、スラムや漁村、農村を回り、現地の青年と交流。ネグロスバナナのフェアトレード「店舗」を自森の教育活動の一環にすることは年来の思い。昨年より選択講座として「オルタナティブライフセンターをつくる」(共生型社会入門)を立ち上げ、センター小屋作りをはじめている。



自由の森学園中学校・高等学校

テストの点数で子供たちを序列することをやめ、一人ひとりの知的好奇心や表現への欲求を大切にされた学校を作ろうと1985年に開校しました。人間の自由と自立への教育を追求することを基本方針にしています

埼玉県飯能市

<http://www.jyunomori.ac.jp/>

後援 舎廬夢ヒュッテ内 木のおもちゃとフェアトレードの店 シャンティバザール